

解答

- 問1 (あ) 庸・調
(い) 都へ税を運ぶときに利用された。
- 問2 中国や朝鮮との外交の玄関口である大宰府と都とを結ぶ道であるため、交通量も多く、国防の面から見ても重要であったから。
- 問3 ア 中山道（中仙道） イ 東海道
- 問4 全国の大名に江戸と領地を行き来させる参勤交代を定めていたから。
- 問5 「富国強兵」「殖産興業」をスローガンに、明治政府は各地に官営工場を建て、生糸や兵器などを生産し、欧米に追いつこうとしていた。そのため、これらの製品やその原料の輸送、また有事の際の兵士の輸送には、計画通りに大量輸送ができる鉄道が最適だったから。
- 問6 満州
- 問7 第二次世界大戦後しばらくは、鉄道が陸上輸送の中心だった。しかし高度経済成長後、自動車の普及とともに道路網が整備され、アスファルトで舗装された道路も多くなった。今では貨物・旅客輸送とも、自動車による輸送が最も多く利用されるまでになった。また高速道路ものび、その総延長は新幹線の3倍をこえている。
- 問8 数年前までは自動車やその燃料に課される税金が道路の建設資金にあてられるしくみになっていた。このため、税収入が増えた分だけ道路が多く建設され、利用者の少ない地域に広く立派な道路が建設されることさえあった。そして近年では、約50年前に建設された道路の老朽化も問題となっている。一方鉄道利用の減少から廃止となる路線もあり、この交通の不便さが過疎の問題を深刻にしている。これらの諸問題の解決のために、道路などの建設前には将来の利用が見込めるかを十分に調査することが求められる。また、環境に優しいとされる鉄道と自動車輸送を組み合わせるモーダルシフトもすすめられている。 など